

第2回 笠間市消防本部の消防体制の見直しに関する検討委員会議事録

令和2年1月14日（火）18時30分から
笠間市消防本部多目的ホール

1. 開会

2. あいさつ

堂川消防次長兼総務課長

第1回検討会欠席委員の自己紹介（川崎委員，近藤委員，木村財政課長）

3. 協議

【事務局】

「笠間市消防本部の消防体制の見直しに関する検討委員会設置要綱」第6条第2項により定足数11名に対し本日の出席者10名なので，会議が成立することをご報告いたします。

【委員長】

それでは，議長を務めさせていただきます。次第3議事（1）消防体制の見直しについて，事務局から説明をお願いします。

【事務局】

説明（資料を読み上げる）

【委員長】

第1回検討委員会を基に資料を作ってくださいました。まず建替えの必要性については，40年以上経過ということで耐震性を含めて必要であるといえ，このことについては議論するまでもないと思います。

建替えするにあたって，消防署の場所や消防本部機能をどうするかが問題であります。消防署については，勧告に基づき笠間市，友部町，岩間町のそれぞれの市町に設置されました。現在は合併により一つの市になりましたが，人口が密集している市街地，準市街地に消防署が建っていて，現在の消防力でカバーできる範囲としてはバランスがいいのかと思います。

もう一つ友部消防署と岩間消防署が統合した場合，説明では単純に中間点を示していたが，そうすると友部・岩間どちらにも遠い場所に作ることになる。はたして住民が安心安全の観点から納得してくれるのかという心配も出てくると思います。

その他，機能や市民のニーズについて説明がありましたが，皆さんからご意見をいただければと思います。

【委員】

友部消防署と岩間消防署が統合するという事は，どちらかの住民が犠牲になるのは明らかで，命にも関わってくる事なのでその選択は無いのかと思います。

消防本部は地域の重要な行政機関です。消防本部を移転するのかについて一点確認したいのが消防本部の業務です。いばらき消防指令センターに笠間市も加盟している状況の中で、現在の消防本部は業務を行うにあたり適切な施設なのかお聞きしたいと思います。

【事務局】

消防本部には総務課、予防課、警防課がございます。交代勤務は行っておりません。総務課は主に予算・給与、庁舎管理及び消防団事務など、警防課は、警防、救急救助、車両管理など、予防課は、防火対象物・危険物施設に関する許認可業務、立入検査、建築確認の同意などがあり、本部全体として現場の職員に対し働きやすい環境づくりのための裏方的な業務も兼ね備えており、適切な施設といえます。

【委員】

行政としての業務も含め市役所と近い方が良いと思うので、消防本部機能の移転も同時にしたほうが良いと思います。

建替えについてですが、特に友部消防署は周りに公民館や公園があり、業務を継続しながらの立替えは現実的ではないと思います。岩間消防署については、周りに土地があるので業務を継続しながらの建替えは可能だと思います。よって友部消防署だけを市役所の近くに移転建替えをする方が現実的だと思います。

【委員長】

水戸市を例にとると消防本部、北消防署が東日本大震災で被災したときは、隣の歴史館の土地を借用して仮庁舎を置き、元々あった敷地に多少近隣の土地を広げて建替えました。

【委員】

友部署の敷地面積が十分確保できればという意味は事務局としてはどう見込んでいるのかお聞きしたい。公民館もかなり古い施設だと思います。建替えの時期のようにも思えます。

【事務局】

友部公民館につきましては、耐震工事を行いましたので直ぐに建替えの必要はありません。現在の友部消防署の敷地は手狭です、仮の話になりますが隣の公園を含めて敷地を拡張できれば新しい庁舎も建てられるのかと思っています。

【委員長】

市当局とも調整が必要だと思いますが、現在地とした場合コストが抑えられ、機動性・効率性に優れているという利点があるといえます。

救急の需要が高まる中、水戸市ではサイレンがうるさいというクレームが多く、とある病院では住宅地が近いため病院の近くになったらサイレンの音を絞って搬送する対策をとっていると聞いています。笠間市では各消防署において、サイレンの音がうるさいとかのクレームはあるのか事務局にお聞きしたい。

【事務局】

友部消防署については周辺が住宅地ということもあり、以前ご意見を頂いた経緯はございます。対策として車両の点検を行う際にサイレンを小さな音にするなど工夫しています。災害出動に際しては、特に意見はないので地域住民にご理解は得られていると考えています。笠間消防署、岩間消防署については特に聞いていません。

【委員長】

消防署は住民の安心安全のための施設であります。人によってはサイレン音を騒音ととらえる住民がいます。小学校、幼稚園でもそういった意見はありますが、新たな場所に消防署を建てて騒音問題に対応するより、理解を得られているのであれば現在地に建替える判断材料にもなると思います。

市民のニーズの観点から小学生や中学生などの見学は各署で行っていますか？

【事務局】

庁舎見学については、消防本部・笠間消防署が一番多いです。友部消防署、岩間消防署については、近隣の小学校や幼稚園が見学に来ます。

【委員長】

近隣の幼稚園、小学生が見学や防災に関する体験ができるというのは建替えには重要な要素だと思います。

また、女性消防職員は現在笠間消防署でしか勤務できないので、全国の状況を見ながらコストを考え作っていくことになると思います。

【委員】

前回の検討会でも言いましたが、笠間市が被災した場合の受援をしっかりと考えるべきだと思います。消防本部には整備されたヘリポートとかの施設があった方がいいと思います。現在の友部消防署の敷地ではヘリは入れないですね。

アクセスと受援体制の整備の観点から、移転するなら市役所に近く、且つ幹線道路に面した場所とする。この2点を検討したほうが良いと思います。

【委員長】

事務局にお聞きしますが、この検討委員会は構成施設の検討をしますか？まずは消防署の場所や建替えの検討だけですか？

【事務局】

消防署をどこに配置をして消防本部をどこに持っていくかの方向性を導きだしていただきたいと思います。

【委員長】

庁舎形態の「消防本部現在地」は、災害対策本部が設置される市役所と30分も離れた場所にあることから初動体制に問題があるので現実的ではないと思います。「消防本部の移転」は、笠間市役所に隣接する場所が良いのではないかと。「岩間署

現在地」は、バランスがよく機動性、効率性に優れており、土地取得や消防デジタル無線移設に係るコストは発生しません。

「友部署現在地」については、先ほど委員からもありましたが、敷地面積については今後検討していただくとし、「友部署移転」については、土地取得は市有地、民有地含めどのような場所が良いのか検討、民有地であれば当然費用がかかり、消防デジタル無線移設にかかるコストも発生します。

「友部・岩間統合」について、中間点や友部に一本化するととなると岩間の準市街地はどうなるのか市民の理解が得られないのかと思います。

消防本部に関しては移転するという結論、友部署消防署は現在地に建替え、岩間消防署は現在地に建替えの結論この3つで委員会の報告をしていきたいと思うのですがいかがでしょうか？

【委員】

消防本部を旧友部に移転した場合に、友部署現在地の構想がなくなるのか、友部署現在地に消防本部を併せて作り替えるのか検討が必要だと思います。

【委員長】

消防本部移転で考えられることは、友部署建設部分の3階か4階に消防本部を併設する。よって笠間市消防本部と友部署消防署という看板ができることになります。

現在の消防本部の2階、3階を有効活用できるよう今後検討していくことになると思います。

【委員】

利活用については、この3階ホールなどは救急トレーニング室にちょうど良いスペースです。現在ある部屋を有効に再利用ができれば、新しい消防施設のダウンサイジングすることができると思いますし、市役所との距離が関係ない施設はこちらに集結させることもありかと考えます。

【委員】

私は、この庁舎はまだ新しいので移転は必要ないと考えています。市役所に近い方がいいのは理解できますが財政的に大変だと思います。

【委員長】

消防本部が現在地というのも一つの方法です。消防本部と市役所が離れていることについて困ったことなど事例があれば、事務局いかがですか

【事務局】

緊急の市幹部会議が招集された場合、急いでも市役所到着までに約30分を要するので会議の冒頭には間に合わないことがありました。緊急に災害対策本部が立ち上がった場合でも、間に合わないことが予想できます。

委員が言われたとおり消防本部移転はコストがかかる難しい問題です。消防本部建設に係る経緯について、以前は笠間市、友部町、岩間町及び内原町の広域消防で

した。笠間市長が管理者であったことから旧笠間市に消防本部ができたと理解しています。平成18年の市町合併により笠間市が誕生し、本庁舎が旧友部町に移ったため市役所と消防本部が離れることになりました。消防本部は市役所に近い場所にあった方が効率的でいいと考えています。

【委員】

大規模地震の時などは、急性期は負傷者の救護などで消防や病院が中心に動き、その後避難所の開設など市役所が中心に動きます。普段は消防本部が近くなくてもいいが、受援という観点では消防本部と市役所が近い方がいいと思います。

【委員】

市役所と消防本部の距離についてですが、大規模災害時、例えば道路が通れなくなったら、通信ができなくなったら、停電して電話も通じなくなったらということを見ると、市役所と消防本部は近い方がいいと思います。

【委員長】

県庁を例にとりますと、震度5強以上であれば直ちに災害対策本部が立ち上がり部長級、自衛隊、DMAT、海上保安庁、東京電力、NTTなども含め関係機関が集まりそこで方針を決定します。

笠間市が災害対策本部を立ち上げた場合、道路の寸断や橋が崩れて消防だけが来られないことを避ける意味もあって、災害対策本部の近くに消防本部機能があった方がいいという考えもあります。

【委員】

基本的に公務員って、最寄りの公的機関に歩いていく前提で災害対策マニュアルに基づいて対応していると思います。そういう点からすると市役所と消防本部は近い方がいいのかと思います。

【副委員長】

反対ということではないのですが、災害対策本部については今の時代ですとテレビ会議もありますので本部に参集しなくても情報共有が十分できると思います。

逆にリスク管理として分散するメリットもあるのかと考えます。例えば特に友部地区で局地的な被害を受けた場合、笠間地区に被害が及ばないということは災害対応の上ではメリットかと思います。

災害対策本部の対応が市役所と消防本部が隣接しなければならない理由にはならないと思います。

【委員長】

本部機能を移設するのはもったいない意見や、本部を友部署と一緒にするとコストがかかるという意見もあります。方向付けとして本部機能を友部へ移転するという私の意見を述べましたが、正解がない中で皆さんの意見を統一していただきたいと思います。いずれにせよ当然コストがかかります。自分たちの職場になる訳です

から当事者の要望も考えてあげられたらとも思います。

【委員】

岩間消防署が移転をするということに不安がっている住民もいます。友部と岩間が統合して高速道路の近くにいるという噂もあります。署によっての人数が異なり、岩間は救急に出ると残りの職員が少なく御苦労なさっているとも聞いています。移転するにしても立地条件は良いにこしたことはない訳ですが、財政面が一番の問題だとも思います。

検討会で賛否両論議論した結果をこのようにお願いしますと言って、市役所はお金を出せるものなのか。やはり良いものが建たないと何もならない。市役所の方である程度原案みたいなものがあればお聞きしたい。

【事務局】

市としては財政の観点を重要視しております。消防に限らず市全体の公共施設を25年かけて削減することを一つの計画として全体の管理に入っています。

一方で消防根幹の部分になりますから、一概にお金の面だけで判断していいのかということになりますと非常に難しいところがございます。

原案についてですが、現時点でこの規模でこうといった内容というものはありません。この検討委員会で皆さまのご意見を聞いた中で、必要な消防力の強化を推進していく立場ではありますが、一方で財政面も考えなければなりません。

今回は、場所と方向性の部分の意見交換ということになりますが、皆様の意見を伺って、その意見について幹部と協議しながら対応していきたいと思っております。

【委員】

財政の問題が出ましたが、国から補助金は出るのでしょうか。

【事務局】

防災減災交付金の中で補助金は交付されると思いますが、機能によって分かれており今日の時点で確認はできておりません。

【副委員長】

消防庁舎の老朽化に伴う単純な建替え等についての財政措置は今のとことないです。通常の起債対象になると思います。

【委員】

合併特例債は使えるのでしょうか。

【事務局】

合併特例債の活用はできると考えております。

【委員長】

他にありませんでしょうか、保守的に考えれば消防本部はこのままでいいという

意見もありました。市長に報告する関係上、複数の意見が出ましたという報告はできないので、ここで採択していきたいと思います。

【委員】

もう1回会議はありますか、方向性を次回で決めてはどうでしょうか。

【委員長】

必要であれば、今後1回若しくは2回程度委員会を開きたいと思います。

【委員】

欠席された方もいますので、全員揃った中で方向性を決めた方がいいと思います。

【委員長】

いつ開催したとしても全員が揃うとは限りません。出席委員が半数以上で成立するので、ここで決めることが可能です。採択を続けます。

【委員】

例えば友部と岩間を統合した場合、具体的にどのようなメリット・デメリットがあるのか、ただ時間的にとかではなくもう少し議論して、やっぱり現状どおり友部と岩間は分けた方がいいというような説得力が乏しいと思います。統合すれば2つのものが1つになるので良いものが建ちますし訓練もできる。建物を岩間に作っていただけるなら賛成します。さらに人が足りないなら財政削ってだって増やすことが必要であると思います。

【委員】

今回判断するにあたって、一番不足していると思うこと10年後、20年後の人口分布とか、人口が半分位になると予想されていることから市街地や準市街地も変わってくると思います。

もし統合について議論が続けられるのであれば、そういったものを出していただいた上で場所を検討することが良いのかと思います。

【委員】

何年度くらいに建替えをするというような計画があると思います。もう一点は、この会議で方向性が決まったらその方向性で進むのかどうか不明瞭であると思います。市役所の方向性に向かって動かされているような感じがしてなりません。

【委員】

例えばここでAとかBに決まり報告したからといって結果が反映される会議でしょうか。計画書みたいなものがあると思います。でないとなかなかこのような会議やるわけがない。方向性を出してから検討した方が進むような気がします。

【委員】

計画書を出して、色々盛り込んで良い消防署ができればいいのかなと思います。

【委員長】

ありがとうございました。では次回ご意見があったところについてコスト面も含め比較できるような資料を事務局で示していただきたいと思います。

【委員長】

それでは次第3議事（2）その他について事務局からお願いします。

【事務局】

次回の開催についてですが、2月の第3週を考えております。時間は、全員が揃いやすい時間帯で18時30分からお願いします。

【委員長】

では2月13日（木）18時30分から開催することとします。

【委員長】

議題は以上となります。長時間にわたりありがとうございました。